

## 医療法人事業報告書等届

6 年 5 月 1 日

静岡県知事 川勝 平太 様

医療法人 社団 順栄  
富士市伝法 564-4  
理事長 小森 雅彦

5 年度  
31 期 の決算を終了したので、医療法第 52 条第 1 項の規定により届け出ます。

## 提出書類

- (1) 事業報告書
- (2) 財産目録
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書
- (5) 監事の監査報告書

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和5年3月1日 至 令和6年2月29日)

1. 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団順栄会

① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人  
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 静岡県富士市伝法 564 番地の 4

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成5年2月5日

(4) 設立登記年月日 平成5年3月10日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	小森 雅彦	
理 事	小森 翼	
同	小森 咲妃	
同		
同		
同		
同		
監 事	小野 純治	
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4第1項参照)

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
病院	〇〇病院	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇県〇〇郡（市）〇〇 町（村） 〇〇番地	一般病床 〇 〇〇床 療養病床 〇 〇〇床 〔医療保険 〇〇床〕 〔介護保険 〇 〇〇床〕 精神病床 〇〇床 感染症病床 〇〇床 結核病床 〇〇床
診療所	小森眼科クリニック	2212310433	静岡県富士市伝法 564番地の4	一般病床 4床 療養病床 〇〇床 〔医療保険 〇〇床〕 〔介護保険 〇〇床〕
介護老人 保健施設	〇〇園	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇県〇〇郡（市）〇〇 町（村） 〇〇番地	入所定員 〇 〇〇名 通所定員 〇〇名
介護医 療院	〇〇介護医療 院	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇県〇〇郡（市）〇〇 町（村） 〇〇番地	入所定員 〇 〇〇名 通所定員 〇〇名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[ ]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
訪問看護ステーション〇〇	〇〇県〇〇郡（市）〇〇町（村） 〇〇番地	
〇〇在宅介護支援センター 【〇〇市（町、村）から委託を受けて管理】	〇〇県〇〇郡（市）〇〇町（村） 〇〇番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
駐車場業	〇〇県〇〇郡（市）〇〇町（村） 〇〇番地	
料理品小売業	〇〇県〇〇郡（市）〇〇町（村） 〇〇番地	

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和5年5月16日 令和4年度決算の決定

令和5年5月16日 理事、監事の選任、辞任の承認

令和5年12月10日 令和6年度の事業計画及び収支予算の決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

様式2

法人名 医療法人社団順栄会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県富士市伝法5 6 4 番地の4

財 産 目 録  
(令和 6 年 2月 29日現在)

1. 資 産 額	130,507 千円
2. 負 債 額	29,189 千円
3. 純 資 産 額	101,318 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	73,671
B 固 定 資 産	56,836
C 資 産 合 計 (A+B)	130,507
D 負 債 合 計	29,189
E 純 資 産 (C-D)	101,318

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借

建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有

様式 3-2

法人名 医療法人社団順栄会  
 所在地 静岡県富士市伝法564番地の4

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表  
 (令和 6 年 2 月 29 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	73,671	I 流 動 負 債	28,451
II 固 定 資 産	56,836	II 固 定 負 債	738
1 有 形 固 定 資 産	43,075		
2 無 形 固 定 資 産	923	負 債 合 計	29,189
3 そ の 他 の 資 産	12,838	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 資 本 金	7,000
		II 積 立 金	
		III 利 益 剰 余 金	94,318
		純 資 産 合 計	101,318
資 産 合 計	130,507	負債・純資産合計	130,507

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団順栄会  
所在地 静岡県富士市伝法564番地の4

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書  
(自 令和 5 年 3 月 1 日 至 令和 6 年 2 月 29 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	173,206
2 事業費用	175,709
本来業務事業損失	△2,503
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業損失	△2,503
II 事業外収益	2,272
III 事業外費用	35
経常損失	△266
IV 特別利益	1,261
V 特別損失	578
税引前当期純利益	417
法人税等	71
当期純利益	346

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団順栄会

理事長 小森 雅彦 殿

私は、医療法人社団順栄会の令和5年会計年度（令和5年3月1日から令和6年2月29日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和6年5月7日

医療法人社団順栄会

監事 小野 純治

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。